

J-クレジット制度認証委員会 御中

実績確認概要書

令和2年11月26日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー認証機構

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	KC1121
排出削減事業者名	東洋化学株式会社
排出削減共同実施事業者名	ES カーボンクレジット合同会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	東洋化学(株) 本社工場 (住所：三重県三重郡川越町高松820)
事業の概要	A 重油ボイラ3基を都市ガスボイラ3基へ更新する。高効率のボイラへ更新し、単位発熱量あたりのCO ₂ 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することで、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011年度：220tCO ₂ 2012年度：883tCO ₂ 2013年度：1,098tCO ₂ 2014年度：1,157tCO ₂ 2015~2018年度：1,077tCO ₂ 2019年度：823tCO ₂ (事業実施期間合計 8,489 tCO ₂)
Jクレジット・国内クレジット認証期間	開始日 2012年1月5日 終了予定日 2020年1月4日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2018年1月1日～2020年1月4日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,354tCO ₂ （2018年1月1日～2020年1月4日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、既存A重油ボイラーを都市ガスボイラーへ更新する事業が実施されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における都市ガス使用実績のおよび銘板写真により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、都市ガス使用実績や関係者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、都市ガス購入実績及びボイラー効率の実測値をもとに算定・集計されていることを確認した。 2) 都市ガス使用量については、都市ガス使用量実績の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。

	<p>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が認証対象期間を超えないこと</p>	<p>本事業は国内クレジット制度からの移行手続きを行ったものであり、本事業の移行案件としての認証期限は事業開始日である2012年1月5日から8年を経過した日である2020年1月4日までである。本実績報告の対象期間は、2018年1月1日～2020年1月4日までであり、排出削減量を算定した期間が2020年1月4日を超えないことを確認した。</p>

5. 特記事項

省エネ量はないことを確認した

以上